

子どもから大人まで、みんなで楽しめる

まちがいがし クイズ

テーマ

「50kmハイク」



問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

あなたは何分でわかりましたか？

- ・ 1分以内 天才
- ・ 3分以内 秀才
- ・ 5分以内 普通

応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり1月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
蒲郡市役所企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

11月12日(月)当日消印有効



抽選で素敵なプレゼント

全問正解された方のうち、抽選で5人の方にクオカードをプレゼントします。なお、賞品は1月初旬ごろ郵送します。

編集後記

最近、日本語に関する記事や報道、書籍をよく見かけます。広報紙を担当するようになってからは、日本語を今まで以上に意識するようになると同時に、あらためてその難しさも実感しています。

文化庁が毎年行っている「国語に関する世論調査」では、日本語の乱れ、特に若い世代での乱れが指摘されています。その中で、特に興味をひく結果となった言葉を紹介します。

- ①「情けは人のためならず」
- ②「一姫二太郎」
- ③「役不足」

皆さんはこれらの言葉の本当の意味をご存じでしたか。（回答は文末に記載しておきますので、ご確認ください。）

ここで、「正しい日本語」について考えてみましょう。現代では、古来より伝わる言葉の意味が変化してしまっている言葉があります。「住めば都」という言葉

を聞いたことがあると思いますが、この言葉の本来の意味は「住めば都つまり、「住むなら都がいい」という意味でした。しかし、いつしか「どんな所でも、長く住み慣れると、それなりによさがあるもの」という意味の「住めば都」に変化してしまいました。それでは、「正しい日本語」とは何を指すのでしょうか。

言葉とは、その社会を如実に表すものです。そのため、時代の変化とともに表現や使い方も変化します。つまり、「正しい日本語」とは、時代とともに変化するのです。その一方で、言葉は先人の知恵であり、その国の文化でもあります。時代に応じた言葉を使いながらも、言葉本来の意味を認識したうえで、後世に「正しい日本語」を伝えていくことが重要ではないでしょうか。今後このことを意識した広報紙づくりに励みたいと思います。（あ）

① 人に情けをかけておくと巡り巡って自分のためになる
② 一人目の子どもは女の子、二人目の子どもは男の子が理想
③ 本人の力量に対して役目が軽すぎることを